

海の子

R8年度テーマ

『「～合い」を大切に、自己との対話、他者との対話で自己実現』

苓北町立富岡小学校 学校通信

No.R8-2

文責 木場 正敏

令和8年4月24日

授業参観・学級懇談会・教育相談 ありがとうございました。

4月は行事が立て続けにある月です。今号では、その様子をご紹介します。

4月19日(日)の授業参観、学級懇談会はたくさんのご参加ありがとうございました。新しい年度となり、4月は子どもたちにとっても学年が一つ上がり、また新しい出会いもあり、「こんなことを頑張っていきたい」「こんなことができるようになりたい」という強い思いをもってのスタートです。その様子を保護者の皆様には参観していただいたと思います。また、学級懇談会と教育相談は子どもを「真ん中」において、学校と家庭が情報交換をしていく大切な機会ととらえています。本年度から家庭訪問を教育相談という形に変更させていただきました。教育相談を終えて、職員室に戻ってくる先生方の顔を見ると「いい共通理解の場になった」という満足感が伝わってきました。今後ともご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



1年生 ↑ 4年生 ↓



たんぽぽ学級 ↑ 5年生 ↓



2・3年生 ↑ 6年生 ↓



4月16日、21日に交通教室を実施しました。交通安全指導員の皆様ご協力ありがとうございました。

4月16日(木)に3~6年生の交通安全教室、4月21日(火)に低学年の交通安全教室を実施しました。低学年の交通安全教室は、天候に恵まれず2回の延期。やっと三度目の正直で晴天の中、実施できました。交通安全指導員の皆様のご協力のもと、正門下の横断歩道を使って、安全確認「右、左、右。手を挙げて、わたります」の練習です。2年生の模範もあり、入学したばかりの1年生もばっちりでした。

中高学年の交通安全教室は、自転車を使っての安全教室です。グラウンドでは、主に運転スキルを、校外のコースでは交通ルールを学んでいきます。3年生も自転車に乗り始め、行動範囲が広がってきますね。くれぐれも交通安全には気を付けていきたいですね。交通安全協会の皆様、いつもありがとうございます。



4月16日(木)5年生は田植え体験です。教育委員会、町農林水産課、そして苓北町土地改良区事務局などのご協力をいただき、苓北町の5年生が全て集まっての田植え体験がありました。この米が、学校給食用米の一部となるそうです。子どもたちは、最初は田んぼに入るのが・・・、といった状況でしたが、慣れるとどんどん苗を植えていました。いつも、田の横を通るたびに、少しずつ大きくなっている様子を観察させていただいています。このまま、順調に大きく育ってほしいですね。

5年生は社会科でも米作について学んでいきます。体験をした中で、探究的に学びを進めていくことがいいですね。また、苓北連合小学校として「水俣に学ぶ肥後っ子教室」「集団宿泊教室」に苓北町の5年生が一つのチームとなって参加します。ちょっとした顔合わせにもなったのではないのでしょうか。すてきな体験の機会ありがとうございました。



富岡小！本年度はこんなところを重視します



R8年度の富小テーマ：「合い」を大切に、自己との対話、他者との対話で自己実現 ～「聴き合う・学び合う」関係の中で、自己有用感を育む学校～

昨年度は、保護者の皆さん、地域の皆様のご協力もたくさんいただき、子どもたちの「学び」「心」「健康・体力」そして「苓北・富岡との関り」が充実した1年であったと思います。子どもたち一人一人成長を頼もしく思った1年でした。しかし、課題もまだまだ残っています。その課題について職員とも共有し、本年度重視していくことをまとめました。

【心】◎ 心の教育の更なる充実

- ①児童と児童、児童と教職員の密接な関係づくり(聴き合う関係・認め合う関係)
- ②相談体制の充実→相談機能をアップ、相談機会を充実(児童の心理的安定をアップしたい)
- ③道徳教育の充実、児童の更なる人権意識の向上(「ことばはわたし」を行動力に!)
- ④自己肯定感を高め、前向きな思考と態度の育成(自己有用感のアップに!)

【学】◎複式学級を学校全体で支える組織づくり

- ⑤「聴き合い」「学び合い」学習の充実とICTの効果的な活用(自分で課題を見つけ、解決を図り、自らの深化を実感する学びへつなげたい)

【健】◎保護者の皆さんと児童の健康について一緒に考える機会の充実

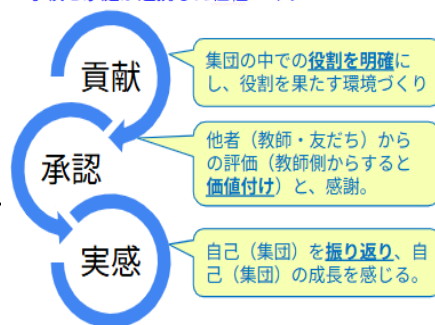
【郷】◎富岡地区とのつながりを大切にしたい学びの精選

【働き方改革】

○苓北町業務管理推進計画に沿った学校の業務内容等の見直し・改善のための工夫

これまで、子どもを真ん中において、学校と家庭で連携した取組を行ってきました。本年度は特に「自己有用感」を子どもたちが実感し、自信につなげる仕組づくりができないかと考えています。「自己肯定感」は、「自分が好き」という内面的な納得感です。「自己有用感」とは、「人の役に立っている」という他者との関係の中で生まれる感覚と考えています。聴き合う関係を大切にしながら、地域とのつながりを大切にしたい学びの中で、家庭と一緒に自己有用感を高めていく1年になるよう取り組んでいきます。

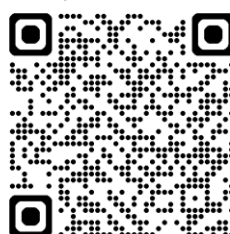
学校と家庭が連携した仕組づくり



ご相談・ご心配ごとがありましたら、 気軽にご相談ください。

- お子さんの健康に関すること(久永)
- お子さんの育ちに関すること(久永・小川)
- 学校での友だち関係の心配事(担任・小川・甲田)
- 学校のきまり等に関すること(小川)
- 学校の教育活動全般(亀子・甲田)

学校HP



ホームページは、ほぼ毎日更新しています。子どもたちの学校の様子や地域との連携、先生たちの頑張りをお伝えしています。ご家庭での子どもたちとの団らんの材料に使っていただければと思っています。是非ご覧ください。